

Q.1 本日楽しかったことは何ですか？

- ・先生方の熱意あふれる話し方が楽しかった
- ・先生方の軽快な語り口、目かくしのリクリエーション
- ・先生方のお話が面白くて、興味をもって聞くことができました。国試の勉強をしていると、実際はこんなもんじゃないだろうなと思うことが多々あり、今日の内容を今後研修医となってからも参考にさせていただきたいと思いました
- ・MAPSOについて具体的な内容が良く分かった
- ・ロールプレイ。目かくしでペアを歩かせる体験
- ・精神科医にならなくても、メンタルの患者を診ることはたくさんあって、来年から研修医になるにあたって大変参考になった
- ・実際の医療の現場の診療で起きたことのある様々な話を開けて楽しかった
- ・学生さんに医学知識以外の大切な部分を教えていること
- ・先生方のリアルな臨床の現場のお話を聞きすることができて非常に楽しかったです
- ・座学がやっていないような知識に関する内容以外、実際の外来での患者にかけられる人数や精神科での実態
➢ 内科外科でも精神科系の疾患の人が多い等を聞くことができたのが楽しかったです
- ・講義だけでなくゲーム等も絡めることで、より先生たちの伝えたいことを理解することができた
- ・体と心が密接に関わっていて外来患者さんのほとんどが心の病であるということにびっくりした
- ・体を動かしながらイメージを作ることができたのが良かったです。実際にロールプレイで問診を体験できることも楽しかったです
- ・SSRIとベンゾジアゼピン系統不安薬の違い
- ・先生方のお話のされ方が、とても特徴的だったので3時間でしたが、全体的に聞いていて楽しかったです。また、ロールプレイ形式だったり、実践的にやらせていただいたのもとても良かったです

Q.2 本日深く学んだことは何ですか

- ・精神科疾患での問診の仕方がわかった
- ・人間への心の在り方。問診や薬について
- ・患者さんのお話を聞くときは「なるほど」
- ・精神医学の重要性
- ・精神に関する病気やそれに対する診療、取り組みなど多くのことを知識0の状態から知ることができました
- ・来年から現場に出ると考えると、人事でなくてかなり考えさせられた
- ・診療では外傷によっておとずれる人だけでなく、精神からくる異常によっておとずれる人が多いことを知って驚いた
- ・臨床実習を通してデパスが処方されているのを沢山目の当たりにしたことがありましたが、依存という観点から実は怖い薬だということを学びました
- ・精神面の問診の方法。他科であるとか関係なく重要そうと思えた（講座ではAという疾患ならBとCとDと いう症状があるくらいの話が多く、実際にどう診断をついているのか、よく理解していないので）
- ・日本の精神科医の実態について、本音を聞くことができておどろくことが多かった
- ・患者さんに向きあうにはまず自分と向き合う「信頼関係を築くためには長い話を聞かなければならない」はちがう
- ・地域に密着した市民病院の実態

- ・ PIPC という単語自体も初めて聞いたので、その重要さも学べたし実際に研修医になってからの実跡的な問診や心がまえの部分も学べました

Q.3 明日、現場に持ち帰って実践してみようと思うことは何ですか？

- ・ 患者さんと話す時の相づちの仕方など
- ・ 自分の心と向き合って学校生活を送っていきたいです
- ・ 不安障害には抗不安薬ではなく、SSRI /SNRI
- ・ 学生のみならずに初期研修医を対象にセミナーを行うことが必要と思いました
- ・ これから医学部での勉強や、ゆくゆく専門を決めていく上で、とても参考になりました。視野を広げることができたように思います
- ・ love & respect
- ・ 心に何らかの不安を持っている患者に対しての内容は実践してみようと思いました
- ・ 外来対応マニュアルは、職場等の人間関係の分析、構築にも役立つ部分があるということ
- ・ 精神疾患を抱えている患者さんが思いの他沢山いらっしゃることがわかったので、問診票を見ないでも実践できるように勉強したいです
- ・ とりあえず、自分のことをもう少し考えることと本を読みます
- ・ 問診でのやりとりを、仕事にも生かしてみようと思った
- ・ 学校では傾聴が重要でどんな話でも親身になって聴くのが医師の役割と教わっていたが、実際の現場で時間的制限のある中で、効率よく聞く方法を考えてみようと思った
- ・ 研修が始まってから、実際にフォーマットに沿って話を聞く方法を使ってみたいと思いました
- ・ 精神疾患を疑う
- ・ 愛とリスペクトを持って、日々勉強に励んでいきたいです

Q.4 その他にお書きになりたいことがありましたら、ご自由にお書きください

- ・ 問診のフォーマットをそのまま読んでもいいのだというのは、研修医のはじめの頃には心強いと思った
- ・ 本来 6H のところ、濃密な 3h をありがとうございました。将来に生かしたいと思います
- ・ 勉強になりました。ありがとうございました
- ・ 井出先生や木村先生の講義はとてもおもしろかったので、また機会があれば是非聞いてみたい
- ・ 精神疾患がある患者さんに対応する不安が少し軽くなったように思います。ありがとうございました。楽しかったです
- ・ お忙しい中、大変ありがとうございました。